

## ロータリーで学んだ 一番大切なこと

甘木 富田 英壽

私のロータリーライフは三八年になりま  
す。地域社会の選ばれた有識者や異業種  
のロータリアンからいろいろなことを学ぶと  
もに、さまざまなロータリー活動を経験さ  
せていただきました。その中で学んだ一番大  
切なことは、「みんなのために、進んで役に  
立つ」ということです。

### みんなのために

ロータリーで私たちは、クラブのため、友  
人のため、家族のため、職場のため、お客さ  
んのため、地域社会のため、世界のみんなの  
ために役に立つよう教えられています。奉仕・  
サービスとは、「人の役に立つ」ことです。

### 進んで

人の役に立つことを「自ら進んで」しよ  
うということです。ロータリーは「Serve」。  
個人奉仕が主体的な考え方です。ですからク

ラブがどうの、国際ロータリーがどうの、と  
言う前にロータリアン一人ひとりが常に自分  
で考えて、世の中のために役立つことをしよ  
う、というのがロータリーの奉仕の精神だと  
思います。

「ロータリーの目的」の第三には「ロータ  
リアン一人一人が、個人として、また事業お  
よび社会生活において、日々、奉仕の理念を  
実践すること」とあります。奉仕活動の中  
には、団体で行った方が効果的なものもあり  
ます。それは団体奉仕ですればよいのです。

### 役に立つ

ロータリーの奉仕の理念は「Service  
Above Self」です。「超我の奉仕」と翻訳さ  
れています。日本のロータリー創始者であ  
る米山梅吉氏は、「サービス第一、自己第二」  
と訳しています。「Above」には、「より上」  
と「より先に」という意味があります。

人間はとかく自分のことばかり考えがち  
です。まず他人のことを考えて、自分のこと  
は後で考えようではないか、という米山氏の  
訳の方が適しているように感じます。

ロータリーで学んだこの「みんなのため  
に、進んで役に立つ」という奉仕の精神を  
自分たちロータリアンだけではなく、皆にも  
広げることが大切でしょう。